

## 授業実践例 いろいろな意味をもつ言葉

■教材・教具 ■学び合い □サプライズ ■ニーズの調整 □その他

## 1 本時のねらい 2/2 時

多義語を使った文を作り，協力して言葉遊びの詩を作ることができる。

(関心・意欲・態度)

## 2 支援の工夫

## ① ワークシート

- ・ 括弧枠や四角枠に書き込むことで，字の大きさや字形を整えやすくする。
- ・ どこに何を書いたらよいかを分かりやすくするために，ワークシートと板書のレイアウトを同じにする。

## ② 時間とタイマー

- ・ 活動時間や終了時刻を明確にすることで，活動できる時間が分かり，見通しをもって活動できるようにする。

## ③ 吹き出し手順くん

- ・ 本時の活動の流れを示す掲示物に加えて，さらに今現在行っている活動が何かを視覚的に分かるようにするための「今カード」を掲示し，児童が活動内容を確認しながら学習できるようにする。
- ・ 手順を示した移動式黒板を教室の横に置き，困ったときに見ることができるようにする。
- ・ 活動が終わったら黒板から外すことで，今する活動をはっきりさせる。

## ④ ジャンボ付箋

- ・ 班のみんなでジャンボ付箋を動かしながら詩を作ることで，話し合い活動を目に見える形で具体化できるようにする。
- ・ 字の大きさや，字間を整えやすくするために，付箋に罫線をいれておく。
- ・ 与えられた言葉別に付箋の色を変えることで，班ごとのお題の違いを分かりやすくする。

## ⑤ ヒントカード

- ・ 自分の意見をもちにくい児童にはヒントカードを示すことで，学習に参加しやすくする。

## 3 考察

- 日頃からさまざまな学習場面で話し合い活動を取り入れ，自分の意見を伝える機会を多く設けることで，学習への参加意欲が高まるようにしている。また，学級みんなで学習して伸びていこうという気持ちを大切にするために「みんなで考えよう。」というめあてを設定し，各班で話し合った内容を学級全体で深めてきた。

本時では，個人で考えた文を持ち寄って班で詩を作るという学び合いの場を設定した。児童は多義語の多様性や，詩のリズム感を楽しんで詩を作っていた。

詩を作る活動のときには，付箋の特徴を生かして，話し合いをしながら個々のジャンボ付箋を入れ替える活動を取り入れた。付箋を動かす操作活動を取り入れたことで，友達の作った文により注目したり，詩ができていく過程を楽しんだりする児童の姿が見られた。また，一人一枚以上ジャンボ付箋に文を書くことをあらかじめ伝えておくことで，全員の児童が学習へ参加できるようにした。

① ワークシート

今日の勉強を思い出して、なぞったり、書き写ったりしよう。

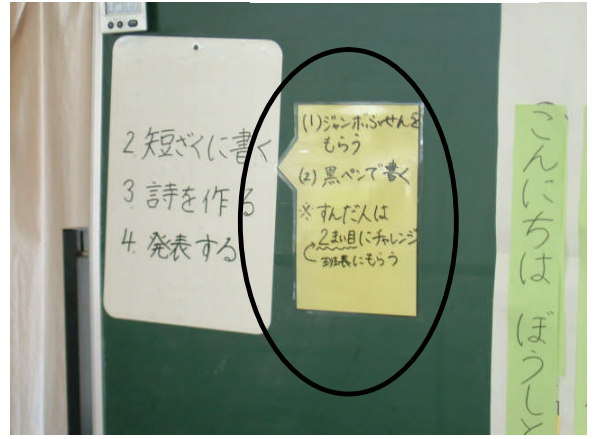
①	お題
②	① (まじろちろ) (いせり)
③	② (たてがき) (なまめ) (り)
	③ (てんどん) (てんどん)

いらいろな意味をむしり言葉 名前

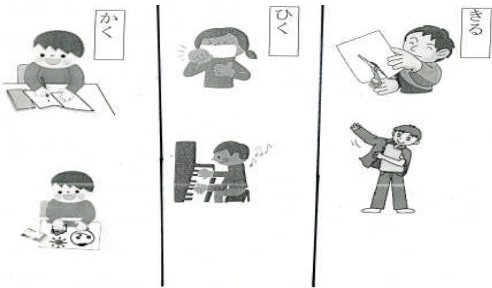
みんなが作った文をあつめて、言葉遊びの詩を作ろう。

②時間とタイマー

③吹き出し手順くん



⑤ヒントカード



④ ジャンボ付箋

